

令和5年度（2023年度）第2回東海市環境審議会会議録

1 会議名

令和5年度（2023年度）第2回東海市環境審議会

2 日時

令和6年（2024年）2月16日（金）午後2時～3時

3 場所

東海市役所 603会議室

4 出席者

(1) 環境審議会委員（15名）

福井弘道、久野辰男、毛利まり子、北村秀行、山下妃呂巳、大木孝二、小野久仁陸、松村実、久野兼幸、山口純、澤木眞、渡邊省吾、桑山幹根、寺島賀子、荒谷芳興

(2) 市長

第3次東海市環境基本計画の諮問後に公務のため途中退席

(3) 事務局

小笠原環境経済部長、河田環境経済部次長兼生活環境課長、石松ゼロカーボン戦略室長、井上生活環境課統括主任、中平生活環境課主事

5 欠席者（環境審議会委員4名）

大橋直子、越智亮、佐藤雅之、青木均

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴者

なし

8 会議内容

(1) 市長あいさつ

(2) 議題

ア 東海市環境審議会会長及び副会長の選任について

会長に愛知県地球温暖化防止活動推進センターの福井弘道氏、副会長に東海市農業委員会の澤木眞氏が指名推選され、全会一致により決定した。

イ 第3次東海市環境基本計画の諮問について

市長より会長へ第3次東海市環境基本計画の策定について諮問を行った。
事務局より、資料に基づき説明を行った。質疑等は以下の通り。

(澤木委員)

資料1-2と資料1-3で、第1回環境審議会の開催月が異なっている。

(事務局)

資料1-2が7月、資料1-3が6月となっているが、正しくは7月のため、
資料1-3を7月に修正してください。

(福井会長)

資料1-2について、令和6年7月に環境審議会と環境基本計画推進委員会
が入っているが、どちらを先に実施するかなど関係性を教えてほしい。

(事務局)

令和6年7月の環境審議会は、令和6年5月に実施する環境基本計画推進委
員会の内容について検討を行うことを予定しており、令和6年7月の環境基本
計画推進委員会の内容は、令和6年7月の環境審議会には影響を与えないもの
です。なお、会議の日程はそれぞれの会長と相談して決めさせていただきます。

(2) 報告事項 令和5年度(2023年度)版基本計画年次報告書について

事務局より、資料に基づき説明を行った。質疑等は以下の通り。

(澤木委員)

11ページの「成果指標16 東海市の面積に対する都市公園面積の割合(%)」
について、2.9%と言われてもわかりにくいですが、公園面積や市の面積がどれ
ぐらいでこのような割合になるのか。

(事務局)

市内の都市公園の面積が約125ヘクタールで、東海市の面積が約43平方
kmであり、都市公園面積の割合が2.9%となります。また、市民1人当たり
面積としてあらわすと、一人当たり約11平方メートルとなります。

(福井会長)

国が進めている30 by 30 (サーティ・バイ・サーティ) という取組があり、国土と海洋の30%を生物多様性の保全に取り組む地域としていく方針となっている。第3次環境基本計画では、市の公園など以外にも企業の緑地等を自然共生サイトとして、生物多様性の保全に取り組んでいくことを考えていく必要がある。

事務局は、第3次環境基本計画における環境の柱はどういった想定をしているか。

(事務局)

環境の柱については、3月12日に開催する環境基本計画推進委員会において検討する予定となっておりますが、事務局の素案としては、愛知県の環境基本計画における環境の柱(「地球温暖化」「自然との共生」「資源循環」「安心安全な生活環境」の4つの柱)をベースとして検討を進めていくことを想定しています。

なお、事務局が近隣自治体を調査したところ、大多数の自治体が県の環境の柱をベースとしていることを確認しています。

(3) その他

事務局より、次のとおり説明を実施した。

ア 令和6年度第1回東海市環境審議会を令和6年7月頃に開催する。

イ 東海市は、毎年3月1日をゼロカーボンの日に制定した。今後、市民に広報を行い、企業におけるエコ通勤の協力や、家庭における省エネの協力などを呼び掛けていく。また、市でも令和6年度にキャンペーンの実施を予定している。